

1. 地域情報

圏域	(主な町名) 岩切、岩切 1 丁目～3 丁目、岩切分台 1 丁目～3 丁目				
	(連合町内会) 岩切地区町内会連合会 (学区) 岩切小学校, 岩切中学校 (地域包括支援センター) 岩切地域包括支援センター				
人口※1	18, 193 人	高齢者数 ※1	3, 732 人	高齢化率※1	20. 51%
世帯数※1	8, 275 世帯	未就学児数※1	1, 009 人		
地区の概況	県民の森、桜の名所の高森山や町内を七北田川が流れており、自然環境にめぐまれている。元々は、田園地帯で仙台名物「曲がりネギ」の発祥の地です。 近年宅地開発が進み、市街への利便性も良いことから、若年層が増えており岩切小学校の児童数は仙台市で 1 番となっている。三世代家族が多いのも特徴の一つです。				
地域資源 (関係団体、施設、連絡会等)	単位町内会	洞ノロ町内会, 若宮町内会, 入山町内会, 大橋町内会、台ヶ原町内会、畑中北町内会、畑中南町内会, 今市下区町内会, 今市中区町内会, 今市上区町内会, 余目町内会, 山崎町内会, 岩切三丁目町内会, 県営岩切住宅自治会, 岩切分台町内会			
	地域活動団体 (町内会除く)	岩切地区民生委員児童委員協議会, 岩切地区共同募金会, 日本赤十字岩切奉仕団, 消防団, 防犯協会, 青少年健全育成協議会, 岩切学区体育振興会, 女性防火クラブ, 子供会育成会, 交通安全協会, 社会を明るくする運動岩切地区実施委員会			
	NPO ボランティア団体				
	高齢者関係施設等	特別養護老人ホームかむりの里, 軽費老人ホームひまわり, 老人ホームケアハウスいわきり, 岩切デイサービスセンター, 介護老人保健施設コーザークホーム, 認知症高齢者グループホームみやぎの杜			
	障がい者関係施設等	障害者日中活動支援施設 かむり学園 ソーシャルインクルーホーム仙台岩切			
	子供関係施設等	岩切保育所, 岩切児童館, 岩切東光第二幼稚園, 仙台岩切あおぞら保育園, ありすの国保育園, 岩切どろんこ保育園, 岩切たんぽぽ保育園			
	教育機関	岩切小学校, 岩切中学校			
	市民利用施設	岩切市民センター (憩いの家) , 岩切東コミュニティ・センター, 各町内会公民館			
	その他	仙台東脳神経外科, 岩切病院, 岩切中央クリニック, 岩切保健センター, その他個人病院が数十か所			

※1 令和 6 年 4 月 1 日現在の「仙台市町名別年齢 (各歳) 別住民基本台帳人口」の町名ごとに集計されているデータを、その町名を主に活動圏域とする地区社協ごとに累計したものです。詳細な地区社協活動圏域 (街区符号・住居番号) による累計ではありません。

岩 切 地区社会福祉協議会

2. 地区社協の体制

結成年月日	昭和・平成 4 5 年 1 月			
社協会員数	4, 835 名（普通会員数 4, 820 名、特別賛助会員数 15 名）※令和 5 年度実績			
会 長	氏 名	渡 邊 敏 之	就任年月日	令和 4 年 4 月 1 日
	兼務の状況			
組織体制	(役員体制) 会長 1 名, 副会長 3 名(共募会長・総務・推進員), 会計 1 名(共募副会長), 庶務 1 名, 理事 2 名, 評議委員(連合町内会内各单位町内会長), 福祉委員(各单位町内会長指定者) (活 動 者) 29 名 (活動者呼称) 福祉委員			
主な活動拠点	有→	(名 称)		
	無→	(主な活動場所) 岩切東コミュニティ・センター, 岩切市民センター, 公民館		

3. 小地域福祉ネットワーク活動

推進体制の概要	各町内会長が指定する地域住民が福祉委員となり小地域福祉ネットワーク活動を行っている。		
会議・研修	町内会長・民生委員児童委員・福祉委員対象の福祉活動合同研修会を1回開催、福祉委員対象の福祉活動研修会を2回開催、福祉委員地区リーダー会議を1回開催、福祉委員対象の交流会を1回開催している。		
活動の概要 (令和5年度実績)	安否確認活動	生活支援活動	サロン活動
	実施対象世帯 (実数) 278世帯 (内訳) 一人暮らし高齢者世帯 150世帯 日中独居高齢者世帯 27世帯 高齢夫婦世帯 61世帯 その他の高齢者がいる世帯 22世帯 障がい者のいる世帯 15世帯 子供のいる世帯 2世帯 その他の世帯 1世帯 実施回数 (延べ) 5,617回 主な支援内容 〔訪問、電話、外からの見守り、その他〕	実施対象世帯 (実数) ※2 22世帯 (内訳) 一人暮らし高齢者世帯 13世帯 日中独居高齢者世帯 0世帯 高齢夫婦世帯 5世帯 その他の高齢者がいる世帯 2世帯 障がい者のいる世帯 0世帯 子供のいる世帯 2世帯 その他の世帯 0世帯 実施回数 (延べ) 95回 主な支援内容 〔副菜などのお裾分け、散歩の付添い、外出・病院の付添い・送迎、傾聴〕	実施回数 85回 延べ参加数 975人 (対象) ☒ 高齢者 ☒ 障害者 ☒ 子育て中の親 (子) ☐ 子ども ☐ その他 ※定期的に開催しているサロン等は、別紙「主なサロンの開催状況一覧」参照

※2 生活支援活動の実施対象世帯数は、下半期(10月～3月)における実績。

地区社協活動シート

岩 切 地区社会福祉協議会

4. 広報など

広報紙等	広報紙の名称	岩切社協だより	発行頻度	年 1 回
	発行部数・配布方法等	7,000 部 地区内全戸配布		
	その他の広報	いわきりつどい紹介シートを見直し、より活用しやすく親しみやすい紙面作成 (令和 6 年 9 月頃 7,000 部 地区内全戸配布予定) 福祉委員の役割や知りたい情報等を掲載したガイドブック作成 (令和 7 年 3 月 100 部)		

5. その他の活動

活動・取組みの概要	福祉事業活動時にはグリーン色ベストを着用し、社協の P R と地域関係団体との交流を深めている。令和 5 年度より寒さ対策用のジャンパーを新調した。 6 月には 75 歳以上の一人暮らしの高齢者と障害のある方を対象に「地域ふれあい福祉懇談会」、7 月には福祉委員対象のフレイルチェック測定会を実施。これまで岩切児童館を利用している子どもたちの「夏休みこども食堂」を地域に移し、住民とのふれあいの場を設けて昼食を提供する夏休み 1 日限定の「畑中南こども食堂」、10 月にはお二人住まいのご夫婦でどちらも 75 歳以上の「豊齡ご夫婦の集い」、11 月には社会を明るくする運動の協賛事業に参加予定。
-----------	---

6. 地区社協活動の特徴

福祉委員は、コロナ禍が沈静化してきたが油断することなく感染症対策につとめ、工夫しながら安否確認活動・日常生活支援活動・サロン活動を行っている。 ネットワーク活動では年間のテーマを掲げ、それらに特化した研修会、活動を行っている。令和 5 年度のテーマ「自己の健康と体調管理をみつめて」では、近隣の病院院長の健康講話、支援者福祉委員の健康を第一に考え、体や心、生活の変化などフレイルの兆候にできるだけ気づくことを目的に交流会を兼ね、昨年に引き続き 2 回目のフレイルチェック測定会を行った。 長期の災害が発生した時、福祉委員が担当になっている補助避難所運営訓練を、民生委員、市民センターと共催、地元の S B L、介護老人保健施設の作業療法士、理学療法士の指導のもと、ベッドから車いす・車いすからベッドへの移乗などの介助法を中心に行った。 連合町内会はじめ民生委員、日赤、市民センター、地域包括支援センター、S B L、防犯協会、学校等地域の各種団体と良好な関係性を保っており、また民生委員と福祉委員の兼務はしていないということが当協議会の特徴と言える。
